

とき

平成26年

12月5日(金) 13:00 ~ 14:30 (3限)

ところ

九州工業大学飯塚キャンパス  
講義棟 1305

# 生命情報工学研究系セミナー

(第26回 BMIRC 研究会)

講師

徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部

ライフシステム部門 & フロンティア研究センター 教授

宇都 義浩 先生

## 発育鶏卵による次世代型動物実験法の開発と 制癌剤の創薬研究

概要：発育鶏卵とは、従来の実験動物であるラットやマウスと比較して、安価で、飼育が容易であり、個体差が小さく、アレルギー性が低く、特別な実験施設が不要といった多くの利点を有する次世代の実験動物です。私は、創薬研究における細胞試験の限界を認識し、この発育鶏卵を用いてユニークな制癌剤の創薬開発に取り組んでいます。

本講演では、発育鶏卵を利用した放射線増感剤 / 防護剤、抗転移剤、超音波増感剤、抗酸化剤の創薬研究について概説します。また、ヒト血清糖タンパク質を利用した免疫賦活剤の開発とその臨床研究についても概説し、工学部が目指す創薬の方向性や可能性を議論したいと思います。

お問い合わせ

九州工業大学 バイオメディカルインフォマティクス研究開発センター (BMIRC)

倉田 博之 E-mail: [kurata@bio.kyutech.ac.jp](mailto:kurata@bio.kyutech.ac.jp) Tel: 0948-29-7828

<http://www.bmirckyutech.ac.jp>